

産科医療補償制度 第98回原因分析委員会 議事要旨

日時：2021年11月10日（水） 16時00分～17時28分

場所：公益財団法人日本医療機能評価機構 会議室

出席者（委員）：石川浩史、茨聡、上塘正人、川田綾子、楠田聡、佐藤昌司、
鈴木俊治、鈴木利廣、関沢明彦、高田昌代、豊田郁子、
前田津紀夫、馬目裕子、宮澤潤、村越毅、吉田幸洋（敬称略）

議事概要：

1) 原因分析委員会における報告書の確認・承認状況等について

○2021年9月末時点で累計2,991件の原因分析報告書が承認されたことが報告された。2020年度はコロナ禍の影響で報告書の作成に遅れが生じたが、ITインフラの整備等により在宅勤務においても円滑に業務遂行できる態勢を構築したことから、2021年度は改善が図れていること等が報告された。

○同一分娩機関での複数事案目の原因分析の結果、同じ診療行為等において医学的に厳しい評価が繰り返された場合に一層の改善を要請する「別紙（要望書）」対応について、2021年9月末時点の実施件数108件、改善要望項目としては「胎児心拍数陣痛図の判読と対応」が最も多いこと等が報告された。また、2020年度より開始した日本産婦人科医会との連携取組みについて、分娩機関の依頼を受け日本産婦人科医会が改善取組みの支援を行っている事案が1件あることが報告された。

2) 原因分析報告書全文版（マスキング版）の開示および原因分析のデータ等を活用した研究等の状況について

○原因分析報告書全文版（マスキング版）については、開示方法を変更した2015年11月以降2021年9月末までに13件の利用申請で延べ1,730事例の報告書を開示したこと等が報告された。

3) 原因分析報告書要約版の公表について

○過去に不同意の意思表示を受け未公表としていた要約版について、該当の保護者および分娩機関等に対し、要約版公表の意義等を説明のうえ要約版公表に理解を求める案内文書の送付を2021年5月末までに完了したこと（海外転居で連絡先不明の保護者分を除く）、その結果、ほとんどの要約版は公表となったが、「公表してほしくない」との申し出を受け公表に理解いただけるよう取組みを継続している事例が数件あることが報告された。

4) 部会審議における確認事項等

○原因分析報告書の作成の際に参照する資料の修正について報告された。

5) 原因分析に関するアンケートについて

○今後の原因分析の改善の参考とするため、原因分析報告書を送付した保護者と分娩機関を対象に、依頼状を郵送しweb上のサイトで回答してもらう形式のアンケートを実施中であることが報告された。

6) その他

○第45回運営委員会（2021年7月開催）で審議された「妊婦の不適切な健康管理および分娩方法に係る対応」について、審議内容や今後の方針が報告された。

以上